

令和3年度

運営に関する計画・自己評価



大阪市立鶴見橋中学校

大阪市立鶴見橋中学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

平成28年度全国学力・学習状況調査結果から、生徒たちは興味・関心をもって学習に取り組んでいるものの学力向上に十分結びついていない。日々の教育活動を通じて、より深く生徒理解に努め、基礎学力の定着・向上を図り、子どもたちが自立するために必要な力を身につけさせる必要がある。また、本校の人権防災教育の取組を充実させ、「いのち」や「つながり」を大切にする教育活動を展開し、自尊感情の育成に努める。それらのことを踏まえ、次の3点を学校課題として取り組む。

- ① 子どもたちが自立し、将来の『社会の形成者』となるような取組
- ② 『いのちの大切さ』『人と人とのつながり』を大切にする教育の取組
- ③ 自己実現を図る教育の取組

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

- 令和3年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 令和3年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を85%以上にする。
- 令和3年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を平成28年度より5ポイント減少させる。
- 令和3年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を平成28年度より5ポイント減少させる。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和3年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、平成28年度より5ポイント向上させる。
- 令和3年度の中学校チャレンジテストにおける正答率3割以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より8ポイント減少させる。
- 令和3年度の中学校チャレンジテストにおける正答率5割以上の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より8ポイント増加させる。
- 令和3年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
- 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、平均の合計記録を、平成28年度より4ポイント向上させる。

【その他】

- 本校が進めている人権防災教育をさらに深め、生徒アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」と答える生徒の割合を高める。
- 令和3年度の授業アンケートで「授業が分かりやすい」と答える生徒の割合を80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標

- 今年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- 今年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 80%以上にする。
- 今年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- 今年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- 今年度末の生徒アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」と答える生徒の割合を 90%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標

- 中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、対府平均比で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。
- 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。
- 今年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
- 今年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である（上体起こし）の平均記録を、前年度より 1 ポイント向上させる。

学校園の年度目標

- 今年度末の授業アンケートで「授業が分かりやすい」と答える生徒の割合を 70%以上にする。
- 校内体力調査において、前年度の校内体力調査より全学年で向上させる。

【その他】

3 本年度の自己評価結果の総括

- 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現
- 「心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上」

(様式2)

大阪市立鶴見橋中学校 令和 2 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○今年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。</p> <p>○今年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 80%以上にする。</p> <p>○今年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。</p> <p>○今年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○今年度末の生徒アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」と答える生徒の割合を 90%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>・健康教育部を中心に、年間計画に沿って人権防災に関する取組を実施する。</p> <p>・「いのちの学校」を目標に掲げ、生徒向けの授業が展開できるよう学年ごとにカリキュラムを作成し、授業力向上の研修を図る。</p> <p style="text-align: right;">(防災・減災教育の推進)</p>	
<p>指標</p> <p>・年間 8 回以上の取組を実施する。</p> <p>・生徒アンケートで、「命や人権の尊さについて考えたことがある」と答える生徒の割合を 75%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>自尊感情を高め、道徳心・社会性を育成するための人権に関する取組を実施する。</p> <p style="text-align: right;">(人権を尊重する教育の推進)</p>	
<p>指標</p> <p>全校生徒参加の人権の取組を年 3 回以上実施する。</p>	
<p>取組内容③【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>地域の方に開かれた学校づくりに関する取組、自分たちの地域や自分たちの将来について考える取組を実施する。</p> <p style="text-align: right;">(学習環境の分析)</p>	
<p>指標</p> <p>地域の方とともにする取組を 毎週 1 回(火・木)以上、自分たちの地域や将来について考える取組を学校全体として年 3 回 (平和登校日・人権集会・人権作文発表会) 以</p>	

上実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立鶴見橋中学校 令和 2 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。</p> <p>○今年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>○今年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である（上体起こし）の平均記録を、前年度より 1 ポイント向上させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○今年度末の授業アンケートで「授業が分かりやすい」と答える生徒の割合を 70% 以上にする。</p> <p>○校内体力調査において、前年度の校内体力調査より全学年で向上させる。</p> <p>○生徒アンケートで「国際理解についての学習は必要である」と答える生徒の割合を 70%以上にする。</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定と英語検定を実施する。また、それらの取組の対策を実施し、基礎学力の向上を図る。 ・月 1 回の KODOMO 新聞を配布する。また、授業でも NIE の取組を行い、日本語力向上を図る。リーディングスキルの取組も新たに行う。 ・すべての教職員が年 1 回以上の研究授業を行い、相互参観、指導助言をすることで授業力向上を図り、わかりやすい授業を目指す。また、大学教授と連携し、エビデ 	

<p>ンスベースで学力向上の方策に関する研修を行う。</p> <p>(学校力UP支援事業)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートで「授業が分かりやすい」と答える生徒の割合を 70%以上にする。 ・大学との連携を図り、専門的な知識や見解を通して、一人ひとりの子ども状況を把握し、年度末の生徒アンケートで「学校に行くのは楽しい」と答える生徒の割合を 70%以上にする。 ・漢字検定、英語検定において、受検級ごとの合格率を前年度より向上させる。 	
<p>取組内容②【施策 6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <p>ユネスコスクールとして、学校行事を SDGs の取組に合わせて精選し、実施する。また、国際理解教育を深め、国際社会を生き抜く力を育む。</p> <p>(多文化共生教育の推進)</p>	
<p>指標</p> <p>週 1 回、国際理解教育と人権教育の取組の実施。(朝鮮問題研究会・多文化学級・同和教育・支援教育)</p> <p>SDGs に合わせた、学校行事の実施(防災学習・平和学習・環境保全・奉仕活動など)</p>	
<p>取組内容③【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>縦割りで行う球技大会をはじめとして、各学年でも体育的行事に取り組む。</p> <p>(子どもの体力・運動能力向上のための取組の充実)</p>	
<p>指標</p> <p>各学年で 3 時間以上の取り組みを実施する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	